

思い出のCM「1秒の言葉」

校長 館岡 靖哲

あけましておめでとうございます。

旧年中は、ひとかたならぬご支援、ご協力を賜りありがとうございました。本年も職員一同全力で取り組んでまいります。変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

さて、江戸時代の儒学者、安井息軒は、次のような言葉を残しています。

【一日の計は朝にあり。一年の計は春（元旦）にあり。一生の計は少壮（少年期）にあり。】

これは、一日の計画は朝のうちに、一年の計画は元旦に、一生の計画は若いうちに立てるのがよいという意味です。新年を迎えた今こそ、与野東中学校の生徒一人ひとりが一年の計画を立て、新しい目標を掲げ、その目標を達成するためにどのような生活を送ればいいのかを考え、今だからできることについて全力で取り組んでほしいと思います。

さて、次に紹介する詩は、今までに二度しか放送されなかった幻のCM「1秒の言葉」です。この詩に出てくる言葉は、どれも短いものですが「言葉のもつ力」を感じることができる詩です。こうした言葉を、友だち、家族にも、たくさんかけられるといいですね。そして、自分から積極的に挨拶ができるといいですね。これからの一年間、どんな素敵な言葉が聞かれるでしょう。今から、とても楽しみです。※この詩は、S o l aルーム前の廊下にも掲示してあります。

「はじめまして」	この1秒ほどの言葉に、一生のときめきを感じることがある。
「ありがとう」	この1秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることがある。
「がんばって」	この1秒ほどの言葉に、勇気がよみがえってくることがある。
「おめでとう」	この1秒ほどの言葉に、幸せにあふれることがある。
「ごめんなさい」	この1秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることがある。
「さようなら」	この1秒ほどの言葉が、一生の別れになるときがある。

1秒に喜び、1秒に泣く。一生懸命、1秒。

（作者：漫画家の小泉吉宏さん）

☆「市報さいたま 1月号」の表紙に、本校で撮影された写真が掲載されております。
黒板のデザインは、美術部の生徒が作成してくれました。

